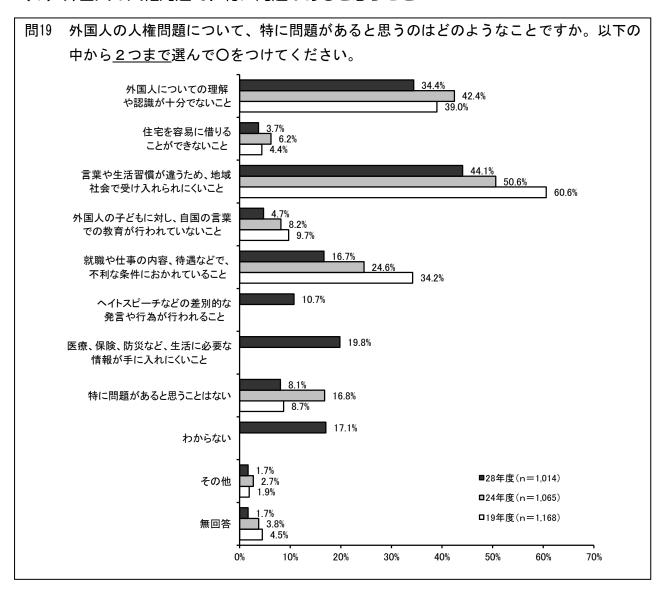
3-7 外国人の人権について

(1) 外国人の人権問題で、特に問題があると思うこと

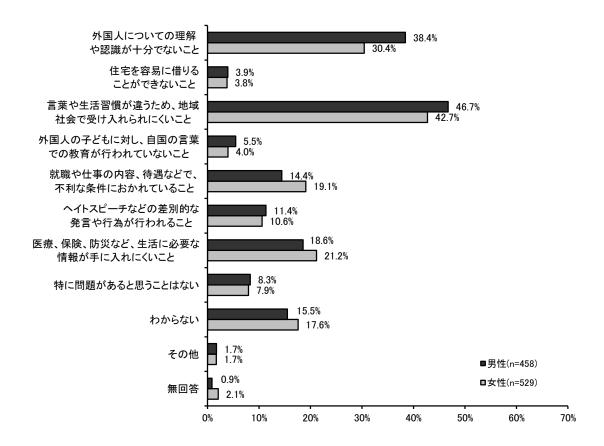


■「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」が 44.1%と最も高く、次いで「外国人についての理解や認識が十分でないこと」が 34.4%、「医療、保険、防災など、生活に必要な情報が手に入れにくいこと」が 19.8%の順となっている。

【前回•前々回比較】

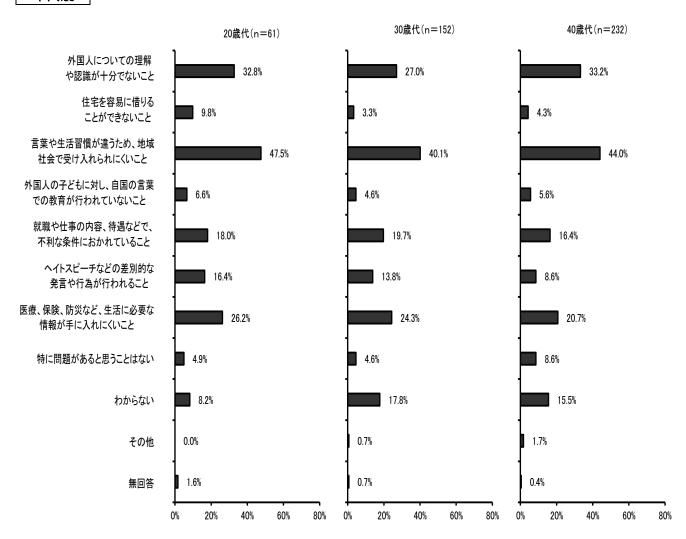
- ■全体的に前回と比べ、どの項目も減少傾向にあり、「特に問題があると思うことはない」は、前回より8.7 ポイント、「外国人についての理解や認識が十分でないこと」は8.0 ポイント、「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること」は7.9 ポイント減少している。
- ■「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること」は前々回より 17.5 ポイント減少している。
- ※「いわゆるヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為が行われること」「医療、保険、防災など、生活に必要な情報が手に入れにくい こと」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

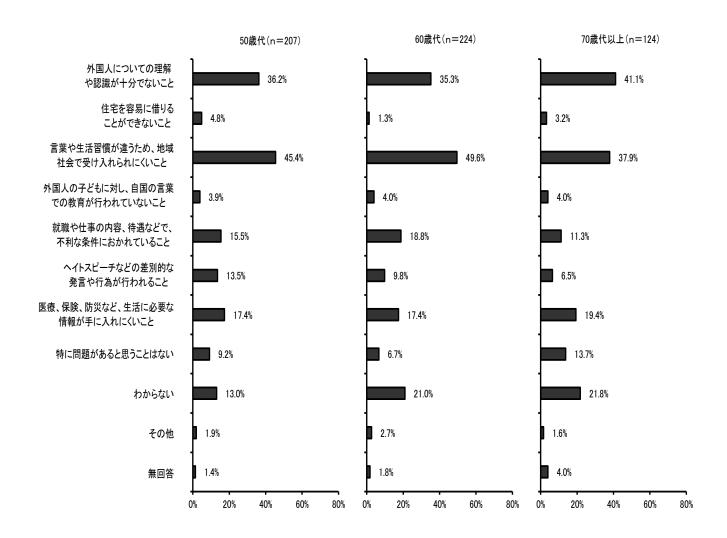
男女別



- ■男女共に「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」が最も高く、次いで「外国人についての理解や認識が十分でないこと」の順となっています。
- ■男女間で大きな違いはみられませんが、「外国人についての理解や認識が十分でないこと」の割合は、女性より男性が 8.0 ポイント高くなっています。

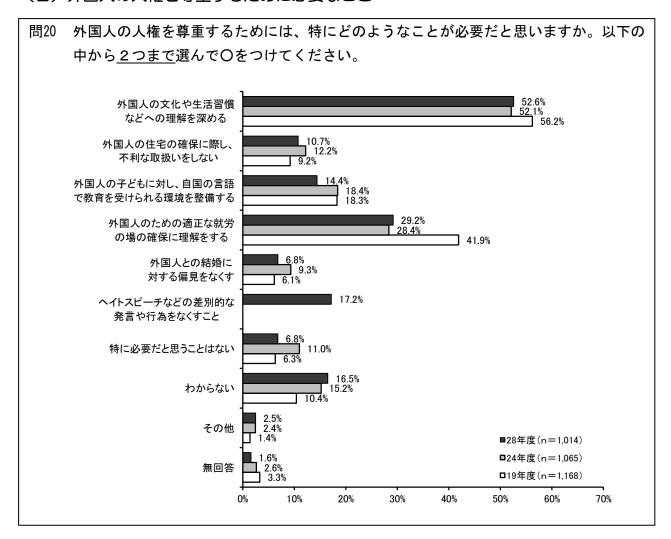
年代別





■「医療、保険、防災など、生活に必要な情報が手に入れにくいこと」の割合は、若い年代ほど高くなっており、20歳代では26.2%となっています。

(2) 外国人の人権を尊重するために必要なこと

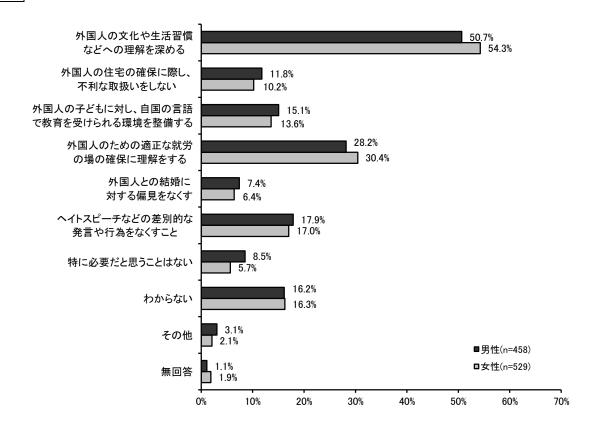


■「外国人の文化や生活習慣などへの理解を深める」が 52.6% と最も高く、次いで「外国人のため の適正な就労の場の確保に理解をする」が 29.2%、「いわゆるヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為をなくすこと」が 17.2%の順となっている。

【前回•前々回比較】

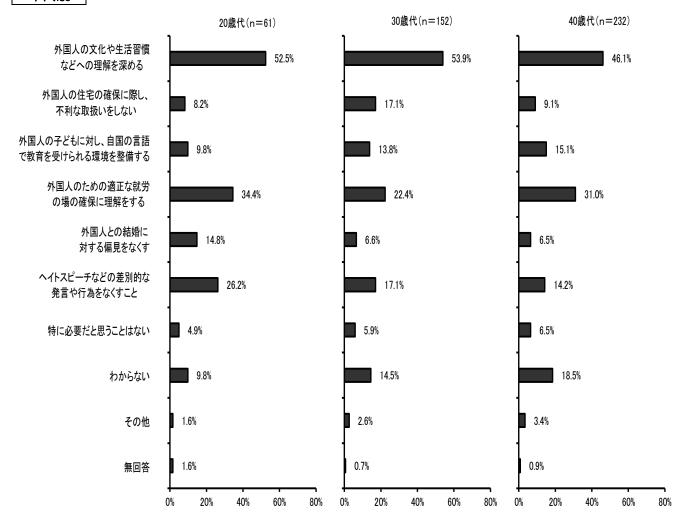
- ■「特に問題があると思うことはない」は前回の 11.0%より 4.2 ポイント、「外国人のための適正な就労の場の確保に理解をする」は前々回の 41.9%より 12.7 ポイント減少している。
- ※「いわゆるヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為をなくすこと」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

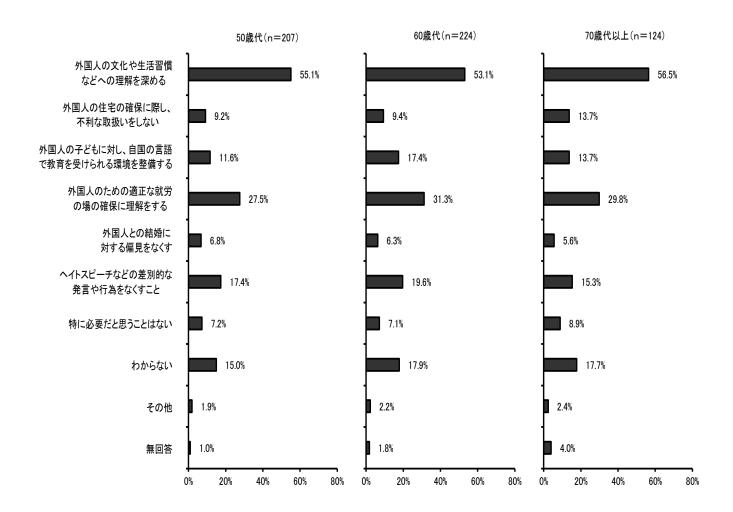
男女別



■男女共に「外国人の文化や生活習慣などへの理解を深める」の割合が最も高く、5割を超えている。次いで「外国人のための適正な就労の場の確保に理解をする」「いわゆるヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為をなくすこと」の順となっており、男女間での大きな違いはみられない。

年代別





- ■いずれの年代においても大きな違いはみられないが、「外国人の文化や生活習慣などへの理解を深める」は、40歳代を除き5割を超えている。
- ■20 歳代では「いわゆるヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為をなくすこと」が 26.2%と、いずれの年代に比べて高くなっている。